

新たな政策体系（案）



現在の政策体系



都市像

生涯健康都市

子育て教育都市

産業革新都市

環境先進都市

文化創造都市

安全安心都市

政策

- 生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現
- 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成

- 子育てしやすいまちの形成
- 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成

- 活力ある地域経済づくり
- 人が集う魅力あるまちの形成

- 地球環境を守るまちの実現
- 良好で快適な生活環境の形成

- 伝統文化の継承と都市間交流の推進
- 活気ある地域コミュニティの形成

- 防災・防犯のまちづくり
- 利便性の高い都市基盤の整備

基本目標（都市像）①

「 」 将来にわたって「ひと」が育つまち

現状・課題

- 子育て家庭の不安感・孤立感の増加
- 子育て相談の多様化・複雑化
- 包括的支援体制の強化・必要性
- 子どもの体験の機会の不足
- 若者の無関心
- 日本人選手の活躍によるスポーツ機運の高まり

区民意見

- 若者会議等の定期開催
- 子どもも親も笑顔であることが望ましい
- 安心して子育てができる環境を維持してほしい
- 体験型の学びの推進
- デジタル教育の推進
- スポーツできる場所の整備

基本目標（都市像）の方向性

- 少子化の進行による年少人口の減少が社会的な課題となっている中、子どもや若者をはじめとする地域の将来を支える「ひと」が育つことが重要となる。
- 「ひと」の育ちに当たっては、妊娠から出産子育てまで切れ目のない支援を行うとともに、学校教育・生涯学習の充実による、自己の能力と可能性を最大限に伸ばすことのできる環境づくりが求められる。
- 「将来にわたって『ひと』が育つまち」を基本目標（都市像）に据えることで、未来の荒川区の礎である「ひと」が育ち、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進する。

基本目標（都市像）②

「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」

現状・課題

- 高齢化の進行（後期高齢者の増加）
- 外国人の増加
- 人と人とのつながりの希薄化
- 人権課題の多様化・複雑化
- LGBTQ・SOGI等の多様な価値
- 障がい者の相談内容の多様化・複雑化
- 生活習慣病の増加
- 感染症対策等の健康危機管理体制の強化の必要性

区民意見

- 高齢者が住みやすい福祉のサービスの充実
- 世代間交流が少ないため、交流の機会を増やす
- 転入者との交流の機会を増やす
- 多言語での情報発信
- 生きがいの醸成
- 病気にならないまち
- 体だけでなく心も健康でいられる荒川区
- 異なる世代や文化が相互に理解を深め合う必要性あり

基本目標（都市像）の方向性

- 高齢化の進行による後期高齢者の増加や外国人の増加、価値観の多様性等、社会構造の変化により、地域社会はより複雑で多様な人々の共存が求められている。
- 年齢・国籍等問わず、誰もが孤立せず、互いの価値観を理解し共存し合う社会が重要となる。
- 基本目標（都市像）の実現に向けては、きめ細やかな福祉サービスの提供や医療体制の整備、あらゆる人々の相互理解・尊重、生きがいを持って暮らすことのできる社会づくりが重要となる。
- 「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」を基本目標（都市像）に据え、多様な人々が互いを認め、つながり、生きがいを持って過ごすことのできる地域づくりを推進する。

基本目標（都市像）③

「 人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」

現状・課題

- ・ ライフスタイルの変化によるニーズの多様化
- ・ 構成員の高齢化による後継者不足・活動の縮小
- ・ 大型のショッピングモール・ネット通販の拡大等による商店街・個店の衰退
- ・ 人口減少による担い手不足・地域産業の衰退
- ・ 既存の観光資源の活性化
- ・ 新たな観光資源の発掘
- ・ 若い世代に対する情報発信

区民意見

- ・ ワークショップの定期開催
- ・ 区の実情の発信を強化すべき（SNSに力を入れる）
- ・ 区外の人あまり知られていない
- ・ 伝統的な祭りやイベントが多い
- ・ 産業・伝統技術・観光資源等、荒川区のまちのブランド化を積極的に行うべき

基本目標（都市像）の方向性

- ・ 地域に根づく伝統や文化、商店街、銭湯などは、荒川区がもつ独自の魅力であり、まちに賑わいと活力をもたらす重要な資源である。また、区民の参画・協働によるまちづくりやシティプロモーションは、シビックプライドの醸成に寄与し、地域の持続的な発展に必要不可欠な要素である。
- ・ 少子高齢化による人口減少に伴う人手不足の深刻化や原材料費・エネルギーコスト等の高騰による企業経営へのダメージのほか、伝統技術や商店の後継者不足が加速する一方で、訪日外国人客によるニーズの変化等、目まぐるしく変化する社会経済情勢に大きく左右されている。
- ・ 「人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」を基本目標（都市像）として位置づけ、地域の伝統・文化の保全と継承、産業・観光振興によるにぎわい創出、住民力の強化を通じて、にぎわいと誇りに満ちた魅力あるまちづくりを行う。

基本目標（都市像）④

「安全安心で快適に暮らせるまち」

現状・課題

- 災害の激甚化
- 人のつながりの希薄化による共助への不安
- 空家の増加・老朽化による災害時のリスク
- 闇バイトや特殊詐欺などの犯罪の多様化
- 交通の利便性の向上
- 建築資材等の高騰
- 気候変動の進行
- 不法投棄等のごみ問題

区民意見

- 防災訓練・避難所整備等、災害に強いまちづくり
- 木密地域・川沿い等、災害のリスクが高い
- 犯罪を1件でも減らす
- 区内の移動が更に楽になるようなまちづくり
- 空家や住宅の老朽化が目立つ（倒壊リスク）
- 魅力ある・やすらぎのある公園の整備
- 水辺空間の活用
- まち全体がきれい



基本目標（都市像）の方向性

- 自然災害の激甚化や気候変動の進行、都市インフラ・住宅等の老朽化などの課題は、区民の生命と生活の安全に直結する重大な問題である。また治安や自然環境の維持は、区民の快適な暮らしに欠かせない要素である。
- 持続可能なまちづくりには、強靱な都市基盤の整備とともに、地域の安全・安心を確保する包括的な防災・防犯対策のほか、自然環境の保全や緑の拡充によって、災害に強いだけでなく暮らしやすい環境をつくり出し、地域の魅力と住民の幸福度を高めていくことが必要である。
- 「安全安心で快適に暮らせるまち」を基本目標（都市像）に据え、防災・防犯体制の強化による、強い荒川区をつくとともに、魅力ある公園整備や環境保全と緑化の推進による、快適で持続可能な都市環境を整備します。

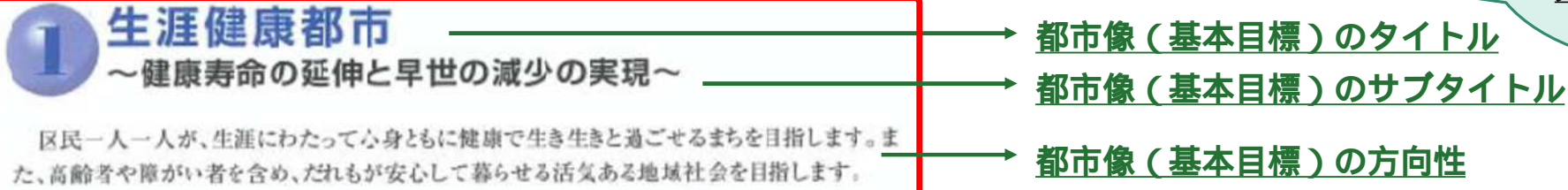
意見交換のポイント及び基本構想への反映イメージ



基本目標（都市像）（案）についてのご意見

- 基本目標（都市像）（案）の記載内容について
- 基本目標（都市像）の構成（タイトル、サブタイトル、方向性）について
- その他基本目標（都市像）に関するご意見

いただいたご意見や表現・
キーワードを
文章に挿入していく



●生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現

- だれもが生涯にわたって健康を保持し、充実した人生を送ることができるよう、健康寿命の延伸と早世の減少に向けた取組を進めていきます。
- 健康づくりに対する区民の意識を高め、区民自らが健康づくりに取り組める環境整備を進めていきます。
- あらゆる世代にわたり食育を推進し、区民の健康づくりを支援していきます。

政策

政策の方向性

小委員会で検討

イメージ（ 荒川区基本構想H19.3～ ）